

山口ハイウェイ通信 (NO104)

県内高速道路の交通事故発生状況

(令和2年8月31日現在)

令和2年の発生件数、負傷者数及び事故件数は概数値

道路別 年別 区分	県内高速道路の交通事故発生状況			県内道路の交通事故発生状況		
	令和2年	令和元年	増減数	令和2年	令和元年	増減数
総発生件数	738	966	-228	23,413	27,356	-3,943
人身事故	26	59	-33	1,708	2,152	-444
死者数	0	3	-3	21	29	-8
負傷者数	36	92	-56	2,051	2,660	-609
物損事故	712	907	-195	21,705	25,204	-3,499

☆ 9月1日は防災の日！！運転中の自然災害への備えは大丈夫ですか？

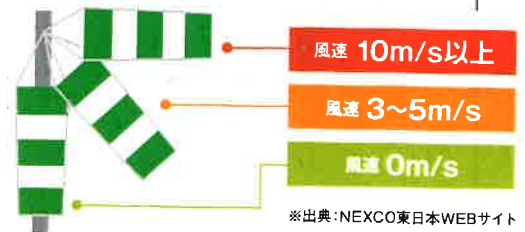
9月は台風が多発する月であり、近年、異常気象により、豪雨災害や強風、突風などが頻発しています。運転中に自然災害に見舞われた場合は？ どのように対処できるか考えておくことも大切です。

○ 豪雨の危険

- ・ 対向車の跳ね上げた水しぶきで視界不良になる  
～ スピードを抑え、急ハンドルを避け、センターラインや外側線を活用する ～
- ・ タイヤの残り溝が少ないと制動距離が延びるため、前方車両等のトラブルに対応できなくなる  
～ 雨の日の残り溝2割のタイヤは新品タイヤより制動距離が1.2倍長くなるといわれています。溝の少ないタイヤは早めの交換をする ～
- ・ 下り坂やアンダーパスで水没することがある  
～ 冠水情報案内板などに注意 セダン車では水深60cmで走行困難になり、ドアの下部まで浸水するとドアが開けられなくなるので、早めに車外へ避難する。また、閉じ込められた場合は、脱出用ハンマーでシートベルトをカットし、窓ガラスを破壊する。ガラスの破片に注意して車外に脱出する～

○ 強風・突風の危険

- ・ 自車の速度が速く、横転する恐れがある  
～ スピードを落とし、ハンドルを把持する ～
- ・ 強風によって車が流され、隣車線を走行する車に接触する恐れがある  
～ 橋の上や、トンネルの出口にある吹き流しの流れ方で大まかな風速を知っておこう ～



※出典：NEXCO東日本WEBサイト

スピードダウン県民運動推進中

～減速で ゆとり運転 防長路～

一般社団法人山口県高速道路交通安全協議会事務局

TEL : 083-973-7920

FAX : 083-976-8883

E-mail : yama.kousokuankyou@chic.ocn.ne.jp

URL: <http://www.ykka.jp>